

Title	郷土の地質 第2回：京都府地質誌(つづき)
Author(s)	松下, 進
Citation	地學 = Science of the Earth (1951), 3: 36-41
Issue Date	1951-03-30
URL	http://hdl.handle.net/2433/186218
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

郷土の地質 第2回

京都府地質誌(つづき)

松 下 進

Geology of Kyoto Prefecture. (Continued) By Susumu MATSUSHITA

補 遺

前號の記述中訂正すべき點、前號で書き落したことや前號原稿執筆後に明かにされた事實について簡単に記しておく。

(a) 何鹿郡物部村・加佐郡河東村以西、上夜久野村に至る間の由良川並びにその支流牧川流域の地質について昨年来行われた中澤學士の研究の成果の一部は次號において發表される等であるが、同氏の研究の結果、前號の地質圖で表したよりも三疊紀層の面積が廣くて、中・古生層が入りまじつて複雑な構造をしていることが明かになつた。また前號に加佐郡河西村公庄の含化石層を河西層群と書いたが、それは公庄層と名づけられ、河西層群とは區別される。

(b) 丹後地帯の花崗岩中のベグマタイトからは十余年前の中郡五箇村大呂におけるフェルグソナイトの發見後⁽¹⁴⁾⁽¹⁵⁾、田久保教授⁽⁵⁹⁾と立川學士⁽⁶²⁾によつて一昨年来、稀元素礦物が廣々と發見されたが、その主なものは中郡三重村森本・三重・谷内の褐礫石と中郡河邊村白石の新礦物河邊石(稀土元素・鐵・ウラン・カルシウム等のメタ珪酸鹽)である。

(c) 本年京都府天然ガス調査が行われ、それによつて京都盆地の地質について新事實が判つて來た。⁽⁶³⁾大阪府茨木・千里山丘陵を標式地として大阪府平野周縁の丘陵に發達する大阪層群の鍵層であるアズキ凝灰岩層が京都盆地の乙訓丘陵・八幡一田邊丘陵の所謂舊洪積層中にも見出され、京都盆地周縁の所謂舊洪積層は大阪層群に外ならないことが確認され、乙訓丘陵の大阪層群の粘土中に前號で記した淡水貝化石・植物化石の外に、新たに海棲貝化石・海棲珪藻化石が見出された。また黄栗丘陵の大阪層群は150m 基底礫岩層を以て古生層を不整合に被り300m 以上の厚層であつて、南北方向に褶曲をし、同方向の斷層で切られていることが明かにされ、八幡一田邊丘陵の大阪層群中に八幡町の南方において背斜軸・向斜軸が見出された。また地化學調査において深井(30m 以深)のメタンガス溶存量を測定した結果、4%以上の所が宇治郡東宇治町宇治郷方面の沖積地にあつて、南北2 km、東西0.5 km の、南北に延びた形をしていることが認められ、含ガス層は大阪層群の下部にあるものと推定された。

(1950, X28 記)

京 都 府 地 質 鑛 物 文 献 (松下進編)

注: 雜報, 摘: 摘要, 演旨: 講演要旨, II: 卷, 17: 号, (313): 頁

- | | | | |
|----|------|--------|-----------------------------------|
| 1 | 1889 | 菊池 安 | On Cordierite as Contact Mineral. |
| 2 | 1890 | 嵯南 樵夫 | 丹後國加佐郡炭田要略 |
| 3 | 1891 | 亘智部 忠承 | 明治23年12月12日調査. 丹波國黒見鎮山概況 |
| 4 | 1891 | T. K. | 丹波天田郡の新化石 |
| 5 | 1891 | | 丹波の中生代化石(雜) |
| 6 | 1893 | 山下 傳吉 | 20万分ノ1地質圖幅大阪並同説明書 |
| 7 | 1893 | 亘智部 忠承 | 生野鉾山地質説明書 |
| 8 | 1894 | 亘智部 忠承 | 20万分ノ1地質圖幅宮津並同説明書 |
| 9 | 1895 | " | " " 豐岡 " |
| 10 | 1895 | 山下 傳吉 | " " 比叡山 " |

Jour. Coll. Sci., Imp Univ., Japan. III (313)

地學雜 II-17 (238~242)

地學雜 III-27 (125)

地學雜 III-32 (439)

地學雜 III-36 (660)

郷 土 の 地 質

11	1895	"	丹後志高村の石炭・丹波の満庵鉱 (雑)	地學雜 VII-78 (336~337)
12	1895		京都近傍の砥材及硯材 (雑)	地學雜 VII-79 (396~397)
13	1896	巨智部忠承	20 万分ノ 1 地質圖幅生野並同説明書	
14	1897	小川琢治	丹波高原北部基性岩迸出地方地質略説	地質學雜 IV-41 (177~182), IV-42 (211~219), IV-45 (319~327)
15	1899	フクチ	京都地方の接觸鉱物 (雑)	地質雜 VI-66 (125~126)
16	1900	圓の越常吉	丹波國龜岡附近大谷鉱山の鉱物 (雑)	地質雜 VII-80 (195)
17	1900	比企忠	山城國相樂郡笠置山附近の接觸礦物 (雑)	地質雜 VII-84 (364)
18	1901	"	京都市地質調査 一, 二	地質雜 VIII-98 (453~464), VIII-99 (505~541)
19	1902	比企忠, 山田邦彦, 圓越常吉	京都四近地質研資料 一, 二, 三, 四	地質雜 IX-101 (58~60), 103 (142~146), 170 (322~325), 110
20	1902	比企忠	On the Allanite Crystal from Hiei Mountain.	Mem. Col. Eng. Kyoto, Imp. Univ., I-1, (72~74)
21	1906	伊木常誠	丹波國天田郡復原及豊富鑛山調査報文	地調報 2 (1~27)
22	1909		山城國相樂郡加茂笠置附近の礦物 (雑)	地學雜 XXI-252 (847)
23	1910	佐藤傳藏	丹後久美濱附近の算盤玉石に就て (雑)	地學雜 XXII-353 (79~80)
24	1913	岩崎	比叡山下の花崗斑岩 (雑)	地質雜 XX-232 (33)
25	1914	廣瀨 晴 芳	丹波國櫻天神の堇青石假晶産地現状 (雑)	地質雜 XXI-245 (66~67)
26	"	神保	山城國宇治川水力電氣工事第一隧道の岩石 (雑)	地質雜 XXI-246 (129)
27	1915	高橋二郎	舞鶴炭田の所謂中生代地層に就て	地質雜 XXII-256 (12~18)
28	1917	比企忠	The Granite and Satellites in Mount Hiei Environs	Mem. Col. Eng. Kyoto, Imp. Univ., I-9.
29	"	"	京都附近地質案内	地質雜 XXIV-284 (245~256)
30	"	"	東山の地質 (雑)	地質雜 XXIV-284 (278~279)
31	"	佐藤	丹後國熊野郡神野村産算盤玉石 (雑)	地質雜 XXIV-281 (84)
32	1923		丹波國下夜久野村の「トリゴニア」 (雑)	地質雜 XXX-360 (364~365)
33	1924	石川成章	近畿地方地質雜観 (I)	地球 II-4 (496~505)
34	"	小川琢治	地理教材としての地形圖 京都近傍	地球 II-3 (440~443)
35	"	上治寅次郎	Some notes on Volcano-Takura-yama and its Environs.	京大卒論 1
36	1925	小倉 勉	京都府及兵庫縣震災地調査報文	地調報 93
37	"	富田 達	丹波夜久野地方閃綠岩類の成因	地質雜 XXXII-381 (228~241)
38	"	上治寅次郎	丹波田舎山火山	地球 III-3 (346~364)
39	"	小倉 勉	Report on the Earthquake in the Prefectures of Kyoto and Hyôgo.	Imp. Geol. Sur. Jap., Rep. No. 93 (1~3)
40	1925	杉 健 一	丹波綾部附近の基性深成岩に就いて	地質雜 XXXII-385 (417~445)
41	"	富田 達	丹波斜長岩 (夜久野斜長石・丹波夜久野閃綠岩類の成因の續稿)	地質雜 XXXII-387 (514~524)
42	"	佐伯四郎	On Some New Species of Jurassic Trigonina from Province of Tamba, Japan.	Jour. Geol. Soc. Tokyo, XXXII, (35~36)
43	1926	中村新太郎	Kyoto, Nara, Osaka, Kobe. Guide-Book Excursion D. Pan-Pacific Science Congress.	
44	1926	佐伯	丹波のジュラ紀三角貝新種	地球 V-6 (569)
45	"	小倉 勉	京都府及兵庫縣震災地調査報文	地質雜 XXXVIII-443 (19), 444 (74), 445 (136)
46	"	船越素一	若狭灣北但馬及京都盆地を成す斷層關係について	地球 V-2 (120~128)
47	1927	上治寅次郎	丹波胡麻郷附近の分水界の地貌	地理教育 V-5
48	"	石川成章	京都府木津温泉	地球 VII-1 (38~51)
49	"	中村新太郎	京都・大阪・奈良・神戸四近地質説明文	地球 VII-5(地質圖), VIII-1 (37~43)

50	"	K. K	丹後國溝谷村産の沸石	地學雜 XXXIX-459 (298~299)
51	"	多 田 文 男	奥丹後地震 (雜)	地理評 III-5 (453~460)
52	"	中村新太郎	丹後峰山地震に顯れたる起震源と起震線(上) (下)	地球 VII-4 (260~272), VII-6 (431~440)
53	"	田中館秀三	奥丹後地震の際海岸の昇陸運動	地學雜 XXXIX-465 (617~627), 466 (704~717)
54	1928	君塚康治郎	丹波賀志鐘乳洞	地球 X-1 (65~70)
55	"	中村新太郎	花折斷層の豫察	地球 X-5 (327~335)
56	"	徳永重康	舞鶴附近の石炭層の時代 (雜)	地質雜 XXXV-416 (290~291)
57	"	田山利三郎	丹後但馬地方の地形發達史結論	學術研究報告 6
58	"	中村左衛門太郎	奥丹後地震報告の一部 (摘)	地球 X-3 (236)
59	"	渡邊久吉 佐藤 戈 止	丹後地震とその地變	地學雜 XL-474 (477~486), 476 (589~602), 477 (662~670), 478 (725~730)
60	"	" "	丹後地震地の地形及地質	地學雜 XL-473 (399~411)
61	1928	木 下	丹波國溝谷村産の灰十字沸石 (雜)	地學雜 XL-475 (543)
62	"	多 田 文 男	奥丹後半島の地形發達史	震研報 V (111~121)
63	"	渡邊久吉 佐藤 戈 止	丹後震災地調査報文	地調報 100
64	"	石本己四雄	丹後大地震後の宮津町及河邊村に於ける地表 傾斜變化觀測 (一)	震研報 IV (203~222)
65	"	津屋弘達	丹後地震地方の地質構造に就て (豫報)	震研報 IV (139~158)
66	"	山崎直方 多田文男	和和二年の奥丹後地震 (地形的考察) 英文	震研報 IV (159~177)
67	"	今村明恒	丹後大地震調査報告	震研報 IV (179~202)
68	1929	多田文男	川の流路の變遷によつて知り得たる伊賀島ヶ 原地塊運動	震研報 VII-3
69	"	"	平衡曲線の研究によつて知り得たる木津川流 路の變遷	地理評 V-3
70	"	那須信治	丹後地震の余震の立體的配列より推定される 地塊の形狀に就いて	地理評 V-6 (481~497)
71	1930	今村明恒	京阪地方に於ける地塊の慢性的地形運動につ いて	地震 II-1 (4~11)
72	"	"	京阪地方に於ける昭和三年以後の地形變動につ いて	地震 VI-11 (681~692)
73	"	村上政嗣	木津川に於ける侵蝕現象	地球 XIV-1 (6~18)
74	"	"	宇治川に於ける侵蝕現象	地球 XIV-2 (101~106)
75	"	"	On the Transportation of the River Kizu and the Uji.	京大卒論 34
76	"	中村新太郎	笠置山脈否定論	地理教育 XII-1 (1~13)
77	"	坪井忠二	丹後地方の三角測量改測の結果から見た地塊 運動	地理評 VI-7 (632~644)
78	1930 1931 1932	"	昭和二年丹後地震に關聯せる丹後地方の地殻 の變形に關する研究 (英文)	震研報 VIII-2 (153~221), VIII-3 (338~345), XI-4 (423~434), X-2 (411~434)
79	1931	初田甚一郎	Permanent Magnetism of the Yakuno Basalt.	京大卒論 36
80	"	今村明恒	京阪地方に於ける地塊運動の特異性について	地震 III-4 (201~219)
81	1932	三雲千代夫	Some notes on the Jurassic formation in the Yakuno district, Tamba, Japan.	京大進論 47
82	"	大石三郎	The Jurassic Plants from Shitaka (The Maizuru Coal Field), Prov. Tango (Kyo- to Prefecture), Japan.	Jour. Fac. Sci., Hokkaidō Imp. Univ. ser. IV, II-1.
83	"	西尾銑次郎	京都四條通を通ずる東西斷面に就いて (演旨)	地質雜 XXXIX-465 (359~360)
84	"	上治寅次郎 大田正美	京都帝國大學醫學部構内鑿井地質と地下水の 研究	水曜會誌 VI-10
85	1933	西尾銑次郎	京都市四條通を通ずる東西斷面に就て	地球 XX-5 (319~324)
86	"	村上政嗣	淀川の侵蝕の速さに就いて	地質雜 XL-477 (321~323)

郷 土 の 地 質

- 87 " 大石三郎 手取統, 特に其化石帯に就いて (2) 地質雜 XL-482 (669~699)
- 88 " 久田太郎, 水上武, 前田競 京阪地方の地殻變形に就いて 地震 V-7 (393~416)
- 89 " 三木茂 On the Pleistocene Flora in Prov. Yamashiro with Description of New species and 1 New Variety. Botanical Magazine, Tokyo, XLVII-561 (619~631)
- 90 " " 山城盆地周邊に於ける洪積層の植物化石 京都府史蹟名勝天然記念物調査報告第14冊
- 91 1934 益子喜來也 Discovery of Lyttonia in a Limestone Exposed at Takauti, Nakayakuno-mura, Amata-gun, Kyoto Prefecture. Jap. Jour. Geol. Geog. XI, (181~183)
- 92 " 大石三郎 ジュラ紀 岩波講座
- 93 " 初田甚一郎 本邦花崗岩のラヂウム含有量 日本學術協會報告 IX-2
- 94 " 田久保實太郎 含稀元素鑛物の研究 京都市修學院産褐礫石 Mem. Col. Sci., Kyoto Imp. Univ., Series B. X-1
- 95 " 初田甚一郎 Radium Contents in Granites in Nippon (Preliminary Report) 地球 XXI-1 (128~140), 2 (187~192), 3 (293~303), XXII-3 (199~214)
- 96 " 吉田敬市 巨椋池の湖岸變遷と干拓事業 地球 XXI-4 (287~292)
- 97 " 鶴川平八郎 京都府相樂郡笠置村産電氣石に就て 地球 XXI-6 (412~415)
- 98 " 上治寅次郎 山城國相樂郡中和東村畑田に於ける電氣石の産狀 地球 XXII-3 (155~163), XXII-5 (328~337)
- 99 " 中村新太郎 近畿中部に於ける地質構造線 我等の礦物 III-2 (61~64)
- 100 " 益富壽之助 丹後神谷産算盤玉石の孔に就て 我等の礦物 III-3 (107~109)
- 101 " 鶴川平八郎 京都府笠置村長傳坊の電氣石 地球 XXIII-6 (420~428)
- 102 1935 岸彰忠 京都に於ける長週期の脈動 日本鑛業會誌 LI-598 (139~142)
- 103 " 石和田章三 大江山ニツケル鑛床に就て Jap. Jour. Ast. Geop., XIV-1
- 104 1936 淺山哲二 Radioaktive Untersuchung des Hiei Granitgebieten. 京大卒論 76
- 105 1935 田邊貞雄 Schmidt's field balance and magnetic surveying in the Yakuno. 地球 XXV-6
- 106 " 村上政嗣 流出量推定の一方法と昭和十年の鴨川洪水 地球 XXVI-5 (311~334)
- 107 " 中村新太郎, 松下進, 館林寛吾 京都西山山地の地質 Jap. Jour. Ast. Geop., XIV-3
- 108 1937 村上政嗣 Une méthode pour déterminer le débit en crue et son application à la crue du Kamogawa en Juin 1935. 我等の礦物 VI-9 (253~282), X-9 (402~518)
- 109 " 京都礦物趣味の會 京都府鑛物誌料 我等の礦物 VI-4 (149~152)
- 110 " 松本ヨネ 丹後國世屋村木子の植物化石に就て 地震 IX-2 (56~58)
- 111 " 吉山良一 京都桃山に於ける傾斜變化 震研報 XV-3 (654~662)
- 112 " 宮部直己 丹後地方の地殻變形研究補遺 (英文) 陸水學雜誌 VII-3, 4
- 113 1938 村上政嗣 淀川並に其支流に依る懸濁物質及溶解物質の運搬作用に就いて 日本化學會誌 LIX-10
- 114 " 田久保實太郎 含稀元素鑛物の研究 (第三報) 京都府中郡五箇村大呂産フェルグソン石 Proc. Imp. Acad. Tokyo, XVI (184~189)
- 115 " 小林貞一, 片山勝 Further Evidences as to the chronological Determination of so-called Rhaeto-Liassic Floras with a Description of Minetrigonia, a new subgenus of Trigonia. 我等の礦物 VII-9 (348)
- 116 1939 益富壽之助 丹波日の本鑛山の満庵鑛床と緑マンガン鑛及び水マンガン鑛に就て 九州鑛山學會誌 X-8
- 117 " 木下龜城, 瀧本清 大江山の泥ニツケル鑛床 我等の礦物 VII-10 (376), 11 (414)
- 118 " 尾崎榮朗 福知山地方の岩石及鑛物 (一)(二) Mem. Coll. Sci., Kyoto Imp. U., Series B, XIV-4
- 119 " 田久保實太郎 Über das Fergusonit von Oro, Präfektur Kyoto, Japan. 地質雜 XLVII-562 (270)
- 120 1940 藤原健一, 澤田秀穂 京都北山の地質

121	"	大石三郎	The Mesozoic Floras of Japan.	Jour. Fac. Sci., Hokkaido Impr Univ. Ser. IV.
122	"	益富壽之助	京都市西郊雙丘の葱貝石	我等の礦物 IX-4 (135)
123	"	益富壽之助 櫻井欽一	京都府園郷山重石鐵脈中に産するトバズについて	我等の礦物 IX-6 (195)
124	"	益富壽之助	京都府熊野郡神野村産プチロル沸石	我等の礦物 IX-6 (211)
125	"	益富壽之助 内山平八郎	京都府礦物誌	
126	"	益富壽之助 須藤俊男	京都府烏ヶ嶽の條石	我等の礦物 IX-7 (218)
127	"	森田清	The Study on the Geology and Ore Deposits of the Umetani mine in the District of Yakuno, Tamba Province.	京大卒論 114
128	1941	阿古目邦夫	久美濱地方の地質	京大卒論 137
129	"	石川俊夫	京都府及福井縣下のクローム鐵礦床に就て	岩礦 XXVI-1 (9)
130	"	田久保實太郎	含稀元素礦物二種 1 京都府中郡五箇村大呂産變種ジルコン	我等の礦物 X-1 (119~123)
131	"	益富壽之助	京都市北郊鞍馬の一銅鐵露頭に就て	我等の礦物 X-7 (270~276)
132	1943	鹽出親平	京都府大城鐵山の地質及鐵床に就て	京大進論 172
133	"	門田長夫	京都府宇治郡の地質	京大進論 171
134	"	上田建夫	京都府行者山花崗岩とその接觸變質作用に就いて	京大進論 170
135	"	松尾良通	山城國鷲峰山附近の地質	京大進論 176
136	"	藤光利直	滋賀縣滋賀郡伊香立村途中附近の地質	京大進論 175
137	1944	中山勇	叡山北部の地質及岩石	京大卒論 193
138	"	中川衷三	兵庫縣福住地方の地質	京大卒論 186
139	1947	佐伯宏	On the Nose Districtic Intusives, North Settsu.	京大卒論 218
140	"	松本隆	Petrography of Kasagi District.	京大卒論 224
141	"	菊地廣	大江山鐵山のニッケル分布	礦物と地質 I-3, 4
142	1948	別所文吉	京阪神をめぐる亜炭田の特性 (演旨)	地質雜 LIV-637 (134)
143	"	小賀豊一	丹波國下夜久野村に於ける三疊紀菊石の發見 (演旨)	地質雜 LIV-638 (158~159)
144	"	神戸信和	丹後國志高統 (演旨)	地質雜 LIV-638 (160)
145	"	中林孝一 中澤圭 岡田節夫	舞鶴附近の含炭三疊系 (演旨)	地質雜 LIV-638 (160)
146	"	小賀豊一	丹波下夜久野に於けるアニシチック化石の發見	礦物と地質 7 (15)
147	"	鳥居昭三	京都東山洪積層	礦物と地質 8 (62~68)
148	"	市原實	Kyoto-Kitayama on Tōbu on Tisitu.	京大進論 226
149	"	岡田節夫	Geology of the Maizuru District	京大卒論 238
150	1949	田久保實太郎 鶴飼保郎	含ニッケル紅土の研究	地學 Vol. I-1 (48~57)
151	"	有田忠雄	京都府笠置附近の花崗岩類及變成岩類	地質雜 LV 647 (99~104)
152	"	松下進	京都附近の古生層 (演旨)	地質雜 LV-648, 649 (121).
153	"	中澤圭二	舞鶴附近の上部三疊紀灘波江層群の Fauna (演旨)	地質雜 LV 648, 649 (124)
154	"	川井直人 竹中準之介	舞鶴附近の古生層中の閃綠岩の磁氣的研究 (演旨)	地質雜 LV 648, 649 (127)
155	"	中澤圭二 岡田節夫	京都府舞鶴附近の地質概報	地質雜 14 (68~73)
156	"	池邊展生	Comptoniphyllum の新產地	礦物と地質 III-3 (99~100)
157	"	竹中準之介	Experimental Investigation on some weakly Magnetized Rocks in Maizuru District	京大卒論 246

郷 土 の 地 質

158	1949	田久保・立川	京都府下に於ける褐礫石の新産地	地 學 1
159	1950	中 澤 圭 二	京都府加佐郡河西村地方の石灰岩礫岩の時代	地 學 2
160	1950	神 戸 信 和	京都府加佐郡志高地方の地質	地質學雜誌 LV1-654 (119-125)
161	1950	田久保實太郎	京都府奥丹後地方の稀元素礦物調査	京都府工礦資料 三輯
162	1950	地質調査所 大阪支所	京都府下の天然ガス調査速報	(謄寫刷)